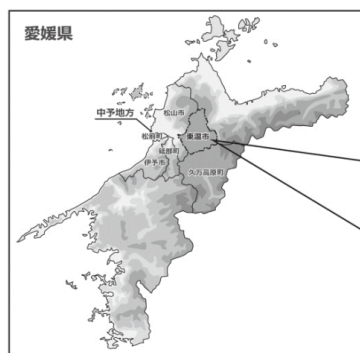


松山自動車道 東温スマート IC の開通

愛媛県 東温市 産業建設部 建設課

◆はじめに

東温市は、人口約 3.3 万人、面積 211.3 平方キロメートルで、愛媛県の中央部に広がる松山平野の東部、県都松山市から 12 キロメートルのところに位置し、一級河川重信川流域に開け、東に石鎚山地、南に皿ヶ嶺連峰、北に高縄山塊の三方を山間部に囲まれた水と緑豊かなまちです。温暖な気候で豊かな土壌に恵まれ、米麦を中心とした農林業が主産業でしたが、国道 11 号をはじめ主要な県道及び伊予鉄道横河原線が走り、さらには四国縦貫自動車道（松山自動車道）川内インターチェンジが設置されるなど交通網の整備等立地条件に恵まれ、近年は土地区画整理事業や工業団地の整備により、県都松山市のベッドタウンとして住宅化や流通、製造業等の企業進出が進んでいます。また、昭和 48 年に愛媛大学医学部が開設され、幼稚園から大学までのあらゆる教育施設が整備されたほか、医療・福祉施設も数多く設置され、西日本初となる地域文化発信の常設劇場である「坊っちゃん劇場」とも併せて、健康福祉と教育文化の香り高いまちとして発展を続けています。



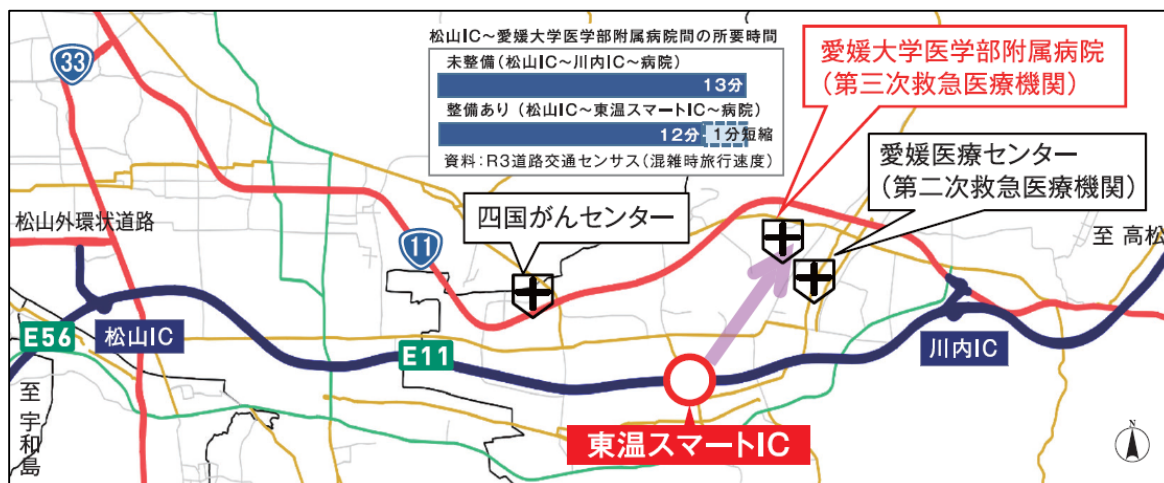
◆ 東温スマート IC 概要

- 設置場所：松山自動車道 川内 IC ～松山 IC 間
- 所在地：愛媛県東温市田窪
- 接続形式：本線直結型
- 利用時間：24 時間
- 利用形態：全方向利用可能
- 利用対象車種：ETC 車載器を搭載した全車種
- 計画交通量：4,000 台 / 日
- 供用開始：令和 6 年 3 月 23 日



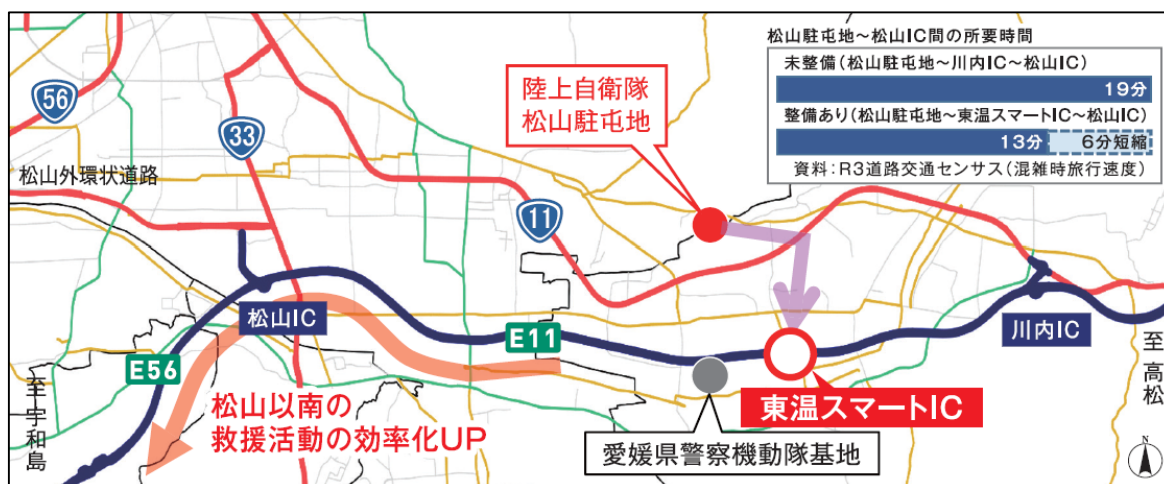
3. 医療活動の支援

東温スマート IC 周辺には、第三次救急医療機関である愛媛大学医学部附属病院および第二次救急医療機関である愛媛医療センターが立地しており、特に県内全域から重篤な救急患者を受け入れる愛媛大学医学部附属病院への松山自動車道を経由した搬送時間の短縮が期待されます。



4. 災害発生時の救援活動を支援

東温市内には、陸上自衛隊松山駐屯地および愛媛県警察機動隊基地が立地しており、南海トラフ地震による甚大な被害が想定されている愛媛県南部などに向けた迅速な派遣への効果が期待されます。



◆ おわりに

東温市は、旧重信町と旧川内町が合併して今年で市政施行 20 周年を迎え、子どもから高齢者まで、だれもが希望と愛着を持てる「ふるさと東温市」の将来を展望した「基盤」を整え、さらなる発展のために、今回整備した東温スマート IC のある地の利を最大限に活用してまいります。

最後に、東温スマート IC の開通にあたり、用地のご提供や工事实施のご理解ご協力をいただいた地元関係者の皆様、事業推進にご協力いただいた国・県ほか関係各位の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。